

【プログラム名】

◎ 子どものやる気をサポート ～小さな頑張りを見つけて伸ばす～

家庭教育支援ガイドブック「子どものやる気をサポート」

1 プログラムの準備等

○実施時期：いつでも

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校低学年～高学年）の子どもの保護者

○準備物、配布物

【配布物】※ファシリテーターの指示で配布

- ・家庭教育支援ガイドブック「子どものやる気をサポート」
- ・家庭教育支援プログラムワークシート

【備品】

- ・ホワイトボード、マーカー

○その他（座席など）

- ・特に指定なし



2 展開 (15:00~15:50 に実施の場合)

時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00~ (5分)	○開会 ・ファシリテーターあいさつ、自己紹介 ・今日の講座の趣旨と流れの説明 ・グランドルール [守秘、参加、尊重、時間厳守] の確認、写真撮影の了解など	・ファシリテーター2名 (進行役と板書/配布係) ・テーマ: 子どもの小さな頑張りを感じ、伸ばす。
15:05~ (5分)	○アイスブレイク 【参加者同士で自己紹介】 (やり方) ・3人一組で、順番に自己紹介をする。1人1分×3人 (内容) 自身の名前 / 子どもの紹介 / 「お子さんの良いところを3つあげてください。」	・場づくり/参加者の状況等を把握する。 ・近くで3人グループになる。
15:10~ (10分)	○グループワーク「子どもの小さな頑張りを見つける」 【Work①「子どもが頑張っているところを3つ挙げてください。」】 (やり方) ① 個人でワークシートに記入。5分 ② 3人一組でグループ内発表。5分	・子どもの良いところに注目。 ・「朝1人で起きる」など当たり前のこと些細なこともOK。 ・A4のワークシートを配布する。
15:20~ (15分)	○グループワーク「親が子どものやる気をサポートすることについて考える。」 【Work②「保護者がどんな声かけをすると子ども自身がまた頑張ろう、または、もっと頑張ろうという気持ちになりますか?」】 (やり方) ① 個人で考え、ワークシートに記入 3分 ② グループ内で共有 5分 ③ 発表、全体共有 5分 家庭教育支援ガイドブックのシート配布 枠外の下部を黙読 2分	「子どものやる気を考える」 ・どのような声かけをすると子どものやる気がアップするのか考える。 ・「子どものやる気をサポートする」とは何かを考える。 ・考えるヒント: 保護者が「よし、がんばろう」と思うときはどんなときでしょう? ・家庭教育支援プログラムワークシート配布

<p>15:35～ (12分)</p>	<p>○グループワーク「子どものやる気をサポートする、声のかけ方を考える」</p> <p>【Work③「家に帰って子どもが頑張っていることに対してどのように声をかけますか?】】</p> <p>(やり方)</p> <p>① 個人作業ワークシートシートに記入 5分</p> <p>② 時間があればグループ内で共有 5分</p> <p>～2分は時間調整用～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・では、どうすればいいのかを考える。 ・子ども自身が考えるとより良い方向にいく。 ・やる気をサポートするためにはいろいろな伝え方があることに気づく。
<p>15:47～ (3分)</p>	<p>○まとめ「子どもの小さな頑張りに気づく」「子どものやる気のサポート」について考えた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子どもの小さな頑張りに気づく。 ・親が家に帰って、子どもに声をかけようと思いは始めている。
<p>15:50</p>	<p>○閉会</p>	

◎ 子どものやる気をサポート ～ちいさな頑張りをみつけて伸ばす～

家庭教育支援ガイドブック「子どものやる気をサポート」

Work①

「子どもが頑張っているところ」を3つ書いてください。

Work②

保護者がどんな声かけをすると、子ども自身が「また頑張ろう」または「もっと頑張ろう」という気持ちになりますか？

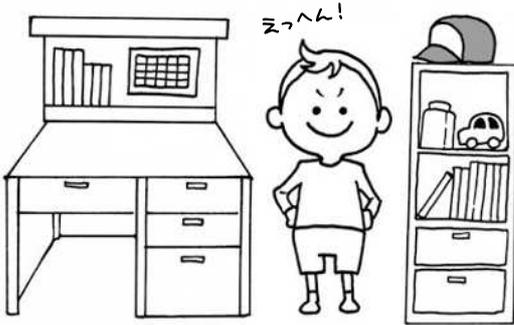
Work③

家に帰って子どもが頑張っていることに対して、どのように声をかけますか？

子どものやる気をサポート

「良い学びは良い環境から」と言われるように、子どもが生活や学習の習慣を身に付けていくためには、子どものやる気を育てることが大切です。

活動する場所の環境づくり



自分の持ち物を自分で整理整頓できるようになると…

- 使いたい物がすぐに用意できる
 - 始めようと思ったときにすぐに取りかかれる
 - 学校へ行く準備がスムーズにできる
 - 忘れ物が少なくなる
 - 物を大切にする
- など

はじめは、親も一緒に片付け、徐々に一人でできるようにしましょう

やる気を育てる心の環境づくり

例えば、毎日の宿題をする時、どんな声をかけたらいいでしょう。



子どもに考えさせましょう。自分で決めた方が、集中しやすく、はかどります

生活や学習の習慣は、小さい頃からの積み重ねによって身に付きます。子どもの小さながんばりを見逃さず、その時、ほめる言葉や励ましの言葉をかけながら、長い目で見守り、根気よくサポートしていきましょう。

「やらされてる感」より「やっている感」